

ハイパーターミナルからのテキスト出力のキャプチャ

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[正しい端末設定の使用](#)

[ルータ出力のキャプチャ](#)

[Break 信号の送信](#)

[ハイパーターミナルの Xmodem を使用した Cisco IOS ソフトウェア イメージの送信](#)

[関連情報](#)

はじめに

Microsoft のハイパーターミナルは、最も一般的に使用されているターミナル エミュレータ プログラムの 1 つです。このドキュメントでは、シスコ ルータで HyperTerminal のいくつかの機能を使用する方法を説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

表記法の詳細については、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

正しい端末設定の使用

HyperTerminal に表示される文字が文字化けしている場合や、ルータがキーストロークを受け入れない場合は、HyperTerminal の設定に問題があることが考えられます。ルータは通常、デフォルト設定を使用します。

HyperTerminal でのデフォルト設定を構成する方法については、[コンソール接続のための正しい端末エミュレータ設定値の適用](#)を参照してください。

デフォルト設定で結果が改善されない場合は、ルータが標準以外の設定を使用するように設定されている可能性が考えられます。それを確認するには、有効なプロンプトが表示されるまで、速度を変えて接続してみます。

速度を変えても有効なプロンプトが表示されない場合は、ルータがハング状態になっている可能性が考えられます。問題を解決するには、[ルータ ハングのトラブルシューティング](#)を参照してください。

ルータ出力のキャプチャ

show コマンド (たとえば、show tech-support コマンド) またはルータ デバッグの詳細な出力は、コピー アンド ペーストを使用するだけではキャプチャできません。代わりに、ここで説明するように HyperTerminal の [テキストのキャプチャ (Capture Text)] オプションを使用します。

1. HyperTerminal プログラムのメニュー バーから [転送 (Transfer)] を選択し、プルダウン メニューから [テキストのキャプチャ (Capture Text)] オプションを選択します。
2. 表示されるダイアログボックスに、エンジニアに送信するファイルの名前を入力します。[開始 (Start)] をクリックします。
3. router# プロンプトに対して terminal length 0 コマンドを入力します。

[terminal length コマンドを使用すると、画面ごとにスペース バーを押さなくてもコンソールがスクロールされるようになります。](#)

注：[show tech-support](#) コマンドでは、デフォルトで「terminal length 0」がオンになっています。

4. エンジニアからの要請があったコマンド (show interfaces コマンドなど) を実行します。
5. コマンドが完了したら、[テキストのキャプチャ (Capture Text)] サブメニューから [停止 (Stop)] オプションを選択します。
6. 必要なだけテキストをキャプチャするまで、ステップ 1 ~ 5 を繰り返します。新しく作成されたファイルをそのまま電子メールに添付してし、シスコのサポート担当者に送信します。

注：毎回、ターミナル長をゼロに設定する必要はありません。ターミナル長の設定は、別の値を手動で設定するまでゼロのままです。

7. router# プロンプトに対して terminal length 24 コマンドを入力します。こうすると、画面いっばいに文字が表示されるたびにコンソールが一時停止するため、出力を読むことができます。

Break 信号の送信

パスワードの回復、またはルータのハングやブーティングの問題に関するトラブルシューティングを行うには、ルータにブレーク信号を送信します。HyperTerminal の場合、CTRL-Break キーまたは CTRL-F6 Break キー シーケンスで Break 信号を送信できます。他のキーの組み合わせのリストは、『[パスワード回復中の標準的なブレーク キー シーケンスの組み合わせ](#)』を参照してください。

ルータがブレーク キーを受け付けない場合は、『[パスワード回復中の標準的なブレーク キー シーケンスの組み合わせ](#)』ドキュメントで、「トラブルシューティングに関するヒント」と「ブレーク キー シーケンスのシミュレート方法」のセクションに慎重に目を通してください。

ハイパーターミナルの Xmodem を使用した Cisco IOS ソフトウェア イメージの送信

何らかの理由（たとえば、起動が失敗する場合）でコンソール ポートから Cisco IOS® ソフトウェア イメージをインストールする必要がある場合は、Xmodem 転送を使用できます。順を追った詳細な手順については、『[ROMmon における Xmodem コンソール ダウンロード手順](#)』を参照してください。

関連情報

- [パスワード復旧中の標準的なブレーク キー シーケンスの組み合わせ](#)
- [コンソール接続のための正しい端末エミュレータ設定値の適用](#)
- [ROMmon における Xmodem コンソール ダウンロード手順](#)
- [ソフトウェア コンフィギュレーション レジスタ](#)
- [パスワード回復手順](#)
- [ルータ ハングに関するトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。